

Gマーク・安全運行支援特集

継続することに意味がある

越野運送

Gマークを10年以上連続取得している越野運送(越野泰弘社長、大阪市都島区)は、現在も継続して更新している。越野社長は「Gマーク開始と同時に着手し、取得した。一番最初に取得したいという気持ちと、運送業界で必要最低限のものと思い、取り組んだ」と話す。

同社は、Gマークを他社との差異化を図る営業ツールとして考えているだけでなく、日々の取り組みの中で必要項目もクリアしていたこともあり、取

得には問題はなかった。Gマークがメ리트になっていっていると感じている部分について、「様々なインセンティブがあった。CNG車購入の際は助成金も受けることができた」と話す。

年々、取得に必要な項目のハードルが上がっていると感じている同社。当初は社長を中心に取り組んできたが、現在では杉崎幹太管理部長が中心だ。「10年前よりもコンプライアンスの要求が高くなっている。継続すればそれほど更新時の資料集めが難しくなってきた」と説明する。

杉崎氏は「取得するのは当社のプライド。取得して終わりではなく、継続することに意味がある」と話す。管理責任者として、継続するための意識を持ちながら仕事に取り組んでいる同氏。「ドライバーム増え、しっかりとGマークを取得している会社だということ浸透させていきたい。これからも継続していけるように取り組んでいく」と意気込みを語る。(中村優希)

